

建立900年 特別展「中尊寺金色堂」

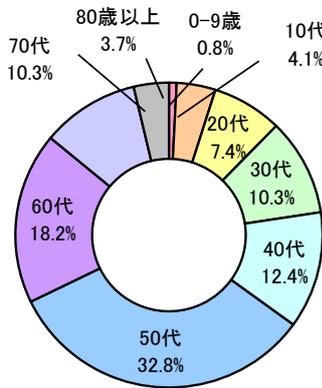
アンケート集計結果

令和6年1月23日（火）～4月14日（日）（会期日数：72日）

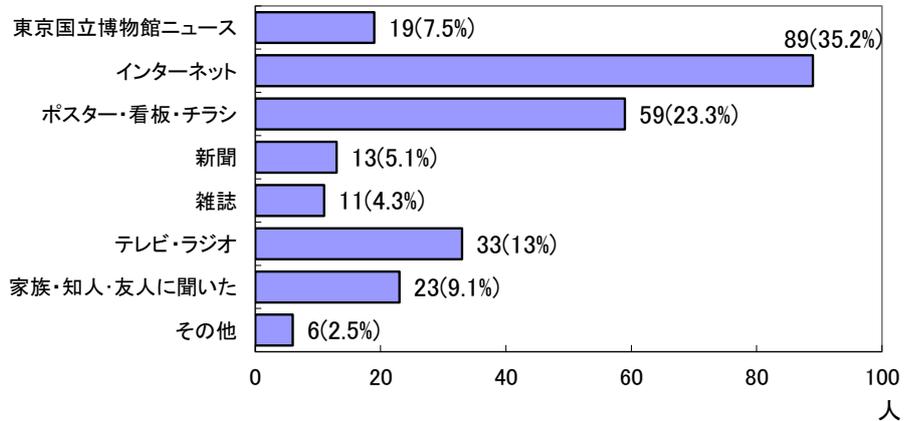
総入館者数：252,601人

回答者数：241人

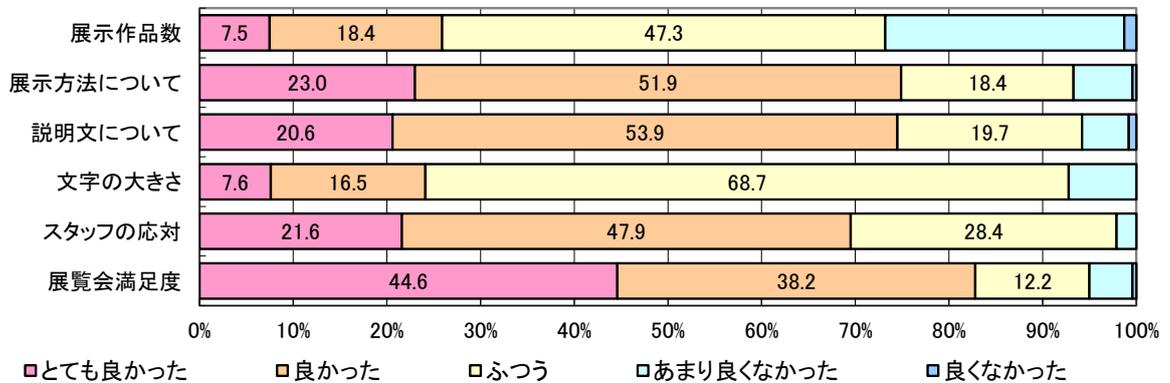
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・なかなか行けない中尊寺金色堂の仏像群が東京で見られてよかった
- ・普段は正面からしか見られない仏像が、至近距離で、裏側まで見ることができてよかった
- ・8K映像で細部を拡大して見ることができよかった
- ・混雑であまりゆっくりと見られなかった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	25.5	1.3
展示方法	6.3	0.4
説明文	5.0	0.8
文字サイズ	7.2	0.0
スタッフの対応	2.1	0.0
展覧会の満足度	4.6	0.4

(%)

本展は中尊寺金色堂の上棟の天治元年(1124)を建立年にとらえ、建立900年を記念して開催する特別展です。国宝の仏像11体が一堂にそろそろほか、かつて金色堂を荘厳していた国宝・金銅迦陵頻伽文華鬘をはじめとした工芸品の数々を紹介しており、展覧会会場入口では、さながら現地にいるような臨場感で金色堂をデジタル拝観できる8K映像の上映も行いました。アンケートでは、現地ではなかなか見られない仏像の背面まで、至近距離で観覧できる展示方法が好評でした。

会期全体で25万人超の来場者があったように、非常に盛況な特別展となりましたが、混雑状況に対するご意見も多く、人の多さゆえにじっくり観覧することができなかったという声もありました。中尊寺金色堂そのものの認知度・注目度の高さもさることながら、国宝の仏像群、文化財を東京で見られる展覧会として多くの来館者に繋がった形となりました。今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境の向上に努めてまいります。